



総合対策

非常時に備えるために…

いざという時に家族があわてず行動できるよう、家族防災会議を開いて次のようなことを話しあい、家族一人ひとりの役割分担や対処方法を決めておきましょう。

家族での話し合いと準備

- 家の中で一番安全な場所を確認しておく。
- 災害時要援護者の支援方法を定める。
- 非常時の役割分担を一人ひとり決める。
- 避難等で家族が離れ離れになった時の連絡方法を定める。
- 自宅から避難場所まで、複数のルートで実際に歩いてみる。
- 食糧やラジオの電池等の備蓄品を点検しておく。
- 避難時の持出用品を日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておく。
- 家屋・家の中の危険箇所をチェックする。



持出用品等の準備

- 避難するときのため、必要最低限の持出用品を、非常時のために備蓄品を準備しておく。



最低でも3日分の食糧と3日分の飲料水(1人1日3リットル)が必要。

備蓄・非常持出用品



日頃からの確認を

- 地図上であなたの家と避難場所を確認し、避難場所までの方向や道順を防災マップに書き入れておく。
- 家族や近所同士で避難場所まで実際に歩いてみて、避難経路を確認する。
※避難場所や避難経路は下見をしておく、いざという時にあわてなくてすみます。本誌15ページ以降の防災マップで避難場所等を表示していますので、ご参照ください。

避難の情報は3種類

避難準備 (要援護者避難)情報

- 避難に時間がかかる高齢者や傷病者などの災害時要援護者は決められた避難場所へ避難する。
- 家族などは要援護者の避難をサポートする。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常時持出用品の用意などの避難準備を始める。

避難勧告

- すべての住民は、決められた避難場所に避難を始める。

避難指示

- すべての住民は、直ちに避難を完了する。
- まだ避難していない住民は、直ちに避難する。
- もし決められた場所へ避難する余裕がなければ、自宅や近隣の安全な場所へ逃げるなど命を守る最低限の行動をとる。

冷静に避難

- 地震の揺れが収まっても、避難の指示などがあつたら、速やかに避難する。避難の指示がなくても、延焼や建物倒壊の危険性を感じた時には、冷静に判断して避難する。
- 避難命令がでた場合は、指示に従い、迅速に避難する。避難する時には電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、火の始末を忘れずにする。警戒水位に近づいた河川等には近づかない。

正確な情報収集

デマやうわさに惑わされることなく、ラジオやテレビ報道などで正しい情報を収集しましょう。防災行政無線・市のHPやFM西東京(84.2MHz)等の災害情報に注意を払ってください。

安全・安心いーなメール

西東京市では、市内の防災・防犯に関する情報を携帯電話やパソコンにメールでお届けする、「緊急メール配信サービス」を行っています。まだ登録されていない方は、ぜひ、ご登録ください。

防災情報

市内で震度4以上の地震情報、気象警報、避難勧告・指示などの緊急性が高い災害情報や避難情報など

防犯情報

メールけいしちょうを含む市内の防犯情報など

登録方法 <携帯電話・スマートフォンから登録する場合>

登録方法1

カメラ機能付き携帯電話で右のQRコードを読み取り、サイトに接続後、手順に従って登録をしてください。



登録方法2

下記メールアドレスに空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録をしてください。

nishi-tokyo-city@sg-m.jp

<登録前にご確認をお願いします>

- 迷惑メール設定をしている場合は、事前に「city.nishitokyo.lg.jp」のドメインからの受信を許可する設定にしてください。
- パソコンから登録する場合は、パソコン用登録画面アドレスからご登録ください。
- 必ず利用規約に同意のうえ、ご登録ください。

<登録画面アドレス> <https://service.sugumail.com/nishitokyo-city/member/>

※登録料は無料です。ただし、メールの受信にかかる通信料は利用者のご負担となります。

防災行政無線自動電話応答サービス

西東京市では、災害発生時などに、防災行政無線で放送した防災・災害などに関する内容について、電話で確認できる自動電話応答サービスを行っています。

本サービスで確認できる内容

災害発生時などに、防災行政無線で放送した防災・災害などに関する内容(平常時に放送される、定時チャイム放送、児童の安全見守り依頼放送、振り込め詐欺防止放送、光化学スモッグ注意報などに関する放送等は除きます。)

自動電話応答サービス専用ダイヤル
電話番号: 042-438-4103

<注意事項>

- 情報提供料は無料ですが、電話料金は利用者の負担になります。
- 回線が混み合っている場合は、つながりにくいことがあります。しばらくしてから、おかけ直してください。
- 電話のかけ間違いにご注意ください。

平常時のメッセージ

防災行政無線による防災・災害に関する放送を行っていない平常時には、次のメッセージが流れております。「こちらは西東京市危機管理室です。防災行政無線放送は、現在、緊急放送を行っておりません。通常放送中です。」

災害用伝言ダイヤル

これは、被災地域内やその他の地域の方々との「声の伝言板」です。

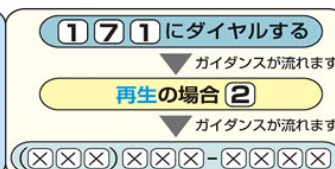
ご利用方法

- * 「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をおこなってください。
- * 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての方が聞くことができます。
- * 提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定し、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

伝言の録音方法



伝言の再生方法



被災地内の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

携帯電話 災害用伝言板サービス

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生した時に、携帯電話・PHSを利用して自身の安否情報を登録、家族や友人の安否情報を確認することができます。それぞれの携帯電話・PHSの「トップメニュー」から「災害用伝言板」を選択してください。※他社携帯・PHSおよびパソコンなどからも、家族や友人の安否情報をご確認いただけます。



NTTドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>



ソフトバンクモバイル

<http://dengon.softbank.ne.jp/>



au

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>



ウィルコム

<http://dengon.willcom-inc.com>

